

8月5日(月)

## 救われた希望

聖書朗読 ルカ 19:1~10

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ 19:10

ニュージャージー州ユニオン市に住むジェイムズ・バトラーさんは、昨年ハリケーン・サンディーによって家が流された何千人ものうちの1人です。彼がほかの人と違うところは、仕事場からボランティアをする所まで通っているうちに、ハリケーンによって水浸しになっている人工のクリスマスツリーを何とかしようと思った事です。最初3回は通り過ぎましたが4回目には立ち寄り、ごみくずのように積み上げられているツリーを近くの空き地に立てました。その行動はまったく本能的でした。

何が起こったのでしょうか。

2週間もたたない内にハリケーン・サンディーの被害者達が次々とそこへやって来てきれいな飾りやライト、願い事をそこに付けツリーは綺麗になりました。

私たちには救いが必要です。希望を持つことも必要です。すべてを無くした人の横を知らん顔して通り過ぎたことはありませんか。誰かに希望や朗報を与えたことはありますか。イエス様は助けてくれます。その助けを自分に取り入れなさい。

その愛によりあなた方は美しく正しく着飾ることが出来るのです。素晴らしい話ですね。

聖歌 410

祈り 主よ。慈悲深く私たちを救うために立ち止まり、イエス様により正しく導かれることに感謝します。主よ、どうか他人にも同じ希望が与えられますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

マーク・R・ガイ

カルフォルニア州 ヴァジェロ

## 今日の力

2013年8月5日~8月11日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月6日(火)

## 相 反 す る 出 来 事

聖書朗読 ルカ 24:1~7

イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

ヨハネ 8:12

相反する出来事、一方の側は悲しく暗く哀れをそそる事でも、もう一方では幸せであり心配がなく喜びに満ちることがあります。

今日の聖書朗読をみてみましょう。女たちは処刑されたイエス様のからだを清めるために香油を持ってお墓に行きました。お墓に着いた時悲しみに沈んでいました。しかしすぐに状況は変わりました。二人の男が現れて、こう言いました。「イエス様はここにはおられません。よみがえられたのです」。最初女たちは途方にくらっていました。イエス様自身が、わたしは殺され3日後によみがえると言われたことを思い出しました。女たちはやっと何がおこったのかを理解すると、深い悲しみから大いなる歓喜へと変わりました。闇が光へと変わったのです。

ある瞬間が人生を変えることがあります。私たちがイエス様を受け入れてバプチスマを受ける時はまさにその決定的瞬間です。闇が光へと変わり、恐怖が喜びへ、不安が希望へと変わります。これは希望への素晴らしい伝言です。興味あることに福音書(Gospel)の中には歩む(Go)と言う文字が入っているように、福音書とともに歩みましょう

聖歌 172

祈り 天のお父様。闇から抜け出し、光であるあなたに従うことができますようにお導きください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ユウジニア・カイツァー  
ヴァージニア州 アーリントン

8月7日(水)

## 聞 い て 学 ぶ

聖書朗読 ヨハネ 6:41~51

父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところに来ます。

ヨハネ 6:45

イエス様がわたしは天から下ってきたと言われたとき、それを聞いた者たちはつぶやきました。「あれはヨセフの子ではないか。私たちがあの者の家族を知らないともいうのか」。結局彼らはイエス様を人間としての側面のみを見ており、神様としての側面を受け入れることが出来ませんでした。そして神様であるお父様から聞いて学ぶことに興味がないのにイエス様を知ったつもりになっていました。

今日でもイエス様の神性を理解していない人がたくさんいます。その人達がイエス様の人間的側面のみを見て、そのお方を知っていると言っています。もし彼らが神様から聞き学ぶならイエス様を知ることになるでしょう。ローマ人10章17節では学ぶことの重要性を教えています。『信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。』

私たちは、聖書を読み、その学びを通してのみ、天のお父様からの教えを学び神様への信仰を育むのです。聖書を通してのみイエス様の人間性と神性を学びます。またその両性によって、私たちに救いをもたらしてくださっているのです。聞いて学ぶということはなんと素晴らしい祝福でしょう。

讃美歌 187

祈り 御在天のお父様。聖書を通してあなたのみことばを語られることに感謝します。どうかあなた様に耳を傾け学びあなた様およびイエス様をよく知ることが出来ますようにお導きください。

イエス様の御名により。アーメン。

ナンシー・ファークソン  
テキサス州 アビリン

8月8日(木)

## 先生

聖書朗読 ヨハネ 7:45～52

イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。というのは、イエスが、律法学者のようではなく、権威ある者のように教えられたからである。

マタイ 7:28～29

あなたに方には先生と呼ばれる方がいるでしょう。確かにわたしにもいます。私の話したい事は自分に感動を与えたり、自己を振り返らせてくれたりするような先生のことです。私たちの日常生活に於ける自己の形成に手助けをしてくれる先生がたくさんいます。先生とは医者、軍人、救急隊員などで、家族や友人と同様に重要な役割をしています。私たちの生活は先生達の影響を常に受けているのです、

私たちの救い主、主がどんな先生であったかと考えたことがありますか。イエス様は新しい権威を持って話されました。(今も話しています。)先生と言うことばは、イエス様自身の事だったのです。(今でもそうです。)イエス様の教えは、その声を聞こうとする人々に感動を与えました。イエス様を捕まえに行った役人たちも聞き入りました。役人たちは普通の人とは違う話し方をなさるお方に自己中心的な態度を取りませんでした。先生のなかの先生でした。

私たちの先生に感謝しましょう。主の御言葉を読んで教えてもらいましょう。そしてその教えに従いましょう。私たちの生き方を通して他人に教えましょう。先生が生き方を変えるのです。

讃美歌 第二編 80

祈り 御在天の父なる神様。あなたが御言葉を通して教えてくださった事を謙虚に考えています。どうかあなたの義に飢え渴いて歩むことが出来ますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

W・スコット・ウードリー  
テネシー州 キングストン

8月9日(金)

## 何様のつもりですか

聖書朗読 ヨハネ 8:48～53

イエスは、父が万物を自分の手に渡されたことを・・・知られ、

ヨハネ 13:3

子どもたちは自分たちの思い通りにするために、一番や大将を争ってつまらない口げんかをよくします。私は一人の子どもが別の子にきっぱりと、「お前何様だと思っているのか。俺はお前の家来ではない」と言っているのをこっそり聞いてしまいました。

ヨハネ8章では、信仰心の薄い信者が登場します。彼らは、いらだってイエス様の言葉に罵声を浴びせます。彼らは自分が聞きたくない事を聞いているからです。それは自分達のほうがイエス様より地位や力があると思い、「自分自身を誰だと思っているのか」とイエス様に迫りヒステリックになっています。

弱点や失敗を指摘して自分の力をみせようとする人を好きにはなれません。嫉妬や恨みがすぐ表面に出てくる事を憎みます。私たちは弱みを見せたくないの、すぐ攻撃的で傷つけるような言葉で相手を傷つけたりします。「彼らは何様だと思っているのか」と今日の学びの箇所のように自分を正当化したりします。

しかしイエス様は私たちのことを御存知です。またご自身が誰であり、何のためにおられるのかもご存知です。その真実の上に立って、イエス様は私たちに語られています。ですから注意深くイエス様に耳を傾け、主の権威の下で生きてきましょう。結局イエス様は、私たちの支配者なのです。

讃美歌 第二編 195

祈り イエス様。あなたはいつも私たちにあなたは誰なのか、何のために居られるのかを知らしめてくださいます。私はあなた様を知り、私の支配者として歓迎しがめます。

イエス様の御名により。アーメン。

デナ・メレネス  
テキサス州 ヴィクトリア

8月10日(土)

## 予 期 し な い 解 決

聖書朗読 ヨハネ 9:1~12

教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。  
エペソ 3:21

生まれつき盲目の人がいました。イエス様は見えてあげることにしました。それは手術で治すのですか。いいえ。特殊な溶液で洗うのでしょうか。いいえ。薬用軟膏ですか。いいえ。唾と土で作った泥をその人の目に擦りつけるのです。ありえないような計画で、まったく人間の論理に反するものでした。しかし効いたのです。

問題は身近なところにあります。仕事が見つからないとか。結婚したいと思っても先方がその気でないとか。また刑務所に入らないといけない。多発性硬化症と診断された。家を買う抽選に洩れた。等々、時には乗り越えられない問題のように思い、解決方法が見えない時があります。しかしイエス様は思いもよらない方法で、不可能と思われる状況を克服して下さいます。

妊娠中のクリスチャンが、いつか自分達の息子がキリスト教の伝道者になることを夢見ていました。しかし、赤ちゃんが手足が無く生まれ出てきたときには、その両親は自分達の夢がどのように実現するかは想像もつきませんでした。それでも彼らは信仰により、あきらめずゆっくり前へ進んで行きました。今ではその息子さんは世界中で神の愛について説教をしています。また人々は障害者ということも手伝ってよく彼の話を聞きに来ます。

『信仰は望んでいる事がらを証しする。』(ヘブル11:1)。生活が狂い出した時、強い信仰を持ちましょう。神様は狂いを直して下さいます。それは、時には最も期待していなかった方法でなさるのです。

聖 歌 321

祈 り 主よ。どうか私たちの限界を悟りあきらめないように助けください。私たちに強い信仰を与えてください。そして人間には出来ないことでも神様はお出来ることを認識させてください。毎日、いつも信仰の道を歩むことができますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ローラ・マリー・ゴード  
カルフォルニア州 ブライス

8月11日(日)

## 早 朝 の 羊 飼 い

聖書朗読 ヨハネ 10:7~10

主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。 詩篇 23:1

エルサレムでは午前4時半の出来事です。私は開いた窓の外羊飼いとその群れの音に引き付けられました。

羊はその立っている羊飼いを囲むようにして食物を食べていました。羊飼いの声は自分の存在を羊たちに示すためのものでした。時折一匹の羊が群れから外れると羊飼いは石を羊の足元に投げ注意しています。準備が出来れば羊飼いは別の牧草地につれて行きます。その様子は丁度鉄くずが磁石に引きよせられる様に羊たちは牧者のまわりにくっついて進みます。そして羊飼いが止まると、いつものように広がり牧草を食べます。一行は、石を積み上げた塀と扉の無い門のところにやって来て、羊飼いはその門を通して中に入れ牧草を食べるようにします。

羊の群れの動く様子は、ちょうど羊飼いを中心とした生物の組織体を見ているようです。

羊飼いのもとで膨張と収縮を繰り返しているのではないですか。

私は、イエス様とその信者の生き生きとした親密さを見てきました。「私はよい牧者です。私は私の羊を知っています。私の羊も私を知っている。」

聖 歌 502

祈 り 主よ。私たちの羊飼いの御心を覚えさせてください。またイエス様がどこに行かれようと慈悲深い導きについて行けますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ペニー・F・ニコルス  
テキサス州 オデッサ